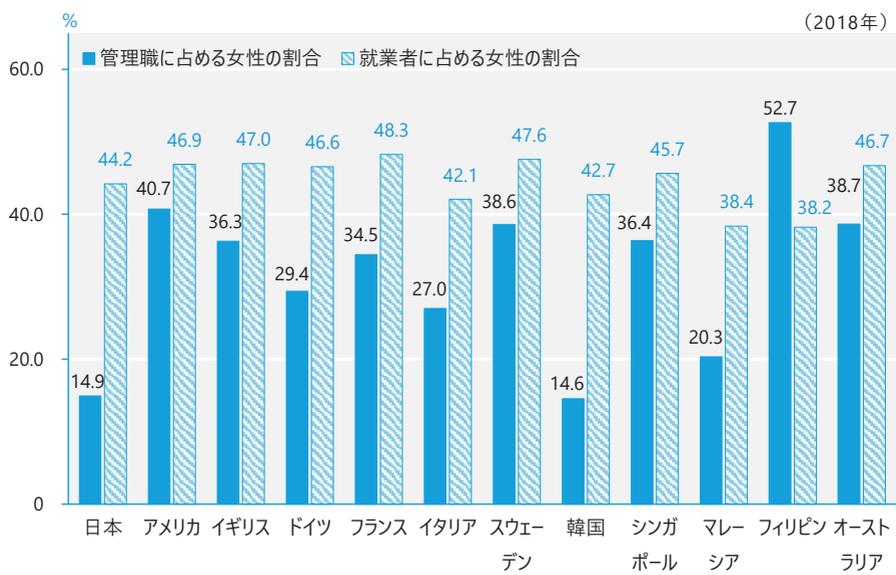


3-3 就業者及び管理職に占める女性の割合



関連表 p.134～143 「第3-4表 性別・職業別就業者数」及び p.146 「第3-6表 管理職に占める女性の割合」

(注) マレーシアは2016年、オーストラリアは2017年。グラフの数値は上記第3-4表を基に算出。例えば日本の2018年は、下記のとおり。

就業者に占める女性の割合： $\text{ISCO 08 区分「計」の 2946 万人(女)} \div 6664 \text{ 万人(男女計)} \times 100$
 管理職に占める女性の割合： $\text{ISCO 08 区分「1」の 20 万人(女)} \div 134 \text{ 万人(男女計)} \times 100$

全就業者に占める女性の割合は、フランス(48.3%)、スウェーデン(47.6%)、アメリカ(46.9%)、イギリス(47.0%)などの欧米諸国に比べて、日本(44.2%)、韓国(42.7%)、マレーシア(38.4%)、フィリピン(38.2%)などのアジア諸国の割合が低い。

一方、管理職に占める女性の割合は、日本(14.9%)と韓国(14.6%)が、アメリカ(40.7%)、オーストラリア(38.7%, 2017年)、スウェーデン(38.6%)などの欧米諸国のほか、フィリピン(52.7%)、シンガポール(36.4%)などのアジア諸国と比べても低い水準にとどまっている。ここでも、職種に関する捉え方や位置づけについての各国の違いが反映されている可能性について、留意が必要である。